



2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日

上場会社名 株式会社シマノ 上場取引所 東
 コード番号 7309 URL <https://www.shimano.com>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）島野 泰三
 問合せ先責任者（役職名）執行役員ESG推進部・コーポレートガバナンス統括部・経理部管掌（氏名）金井 琢磨（TEL）072-223-3254
 半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 2024年9月3日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	216,887	△17.6	30,955	△42.6	55,625	△18.7	43,704	△13.2
2023年12月期中間期	263,250	△13.3	53,908	△33.4	68,409	△25.7	50,378	△26.5

（注）包括利益 2024年12月期中間期 109,195百万円（15.4%） 2023年12月期中間期 94,648百万円（△26.8%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
2024年12月期中間期	円 銭 487.49	円 銭 —
2023年12月期中間期	556.81	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	961,480	882,590	91.7
2023年12月期	871,731	802,396	91.9

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 881,344百万円 2023年12月期 801,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	142.50	—	142.50	285.00
2024年12月期	—	154.50			
2024年12月期（予想）			—	154.50	309.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	△5.1	66,000	△21.1	100,000	△3.3	77,000	25.9	862.01

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	89,822,000株	2023年12月期	90,022,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	495,764株	2023年12月期	56,027株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	89,652,706株	2023年12月期中間期	90,478,026株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は現時点において入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定要因に対する仮定を前提としております。従って、実際の業績は内外の状況変化により異なる結果となる場合がありますのでご承知おき下さい。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の3ページを参照して下さい。

○添付資料の目次

1. 当中間期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当中間期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におきましては、引き続き、欧米を中心とした金融の引き締め政策、ウクライナ・中東情勢の緊迫化による地政学リスクや中国経済の停滞等が、足許の景気を下押しする要因とはなったものの、世界経済は緩やかな回復基調となりました。

欧州では、雇用環境の改善が進むにつれ個人消費も緩やかに回復し、景況感にも回復の兆しが見え始めました。

米国では、金融の引き締め政策が続くなか、良好な雇用環境が個人消費を下支えし、景気は堅調に推移しました。

中国では、不動産市場の長期的な低迷と個人消費の鈍化により、景気は力強さを欠きました。

日本では、所得政策の実施に加えて雇用環境に持ち直しが見られ、景気は緩やかに回復しました。

このような環境の下、自転車、釣具への需要は引き続き弱含みであり、当中間連結会計期間における売上高は216,887百万円(前年同期比17.6%減)、営業利益は30,955百万円(前年同期比42.6%減)、経常利益は55,625百万円(前年同期比18.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は43,704百万円(前年同期比13.2%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 自転車部品

長期的なトレンドとして、自転車への高い関心が続くなか、完成車の需給調整が継続し、世界的な市場在庫は総じて高い水準で推移しました。

海外市場においては、欧州市場では、主要市場であるドイツやベネルクス諸国での店頭販売は底堅く推移した一方で、その他の国では完成車の需要回復の遅れから、販売は弱含みとなり、市場在庫は高めで推移しました。

北米市場では、自転車への関心は底堅かったものの、完成車の店頭販売は軟調となり、市場在庫はやや高めの水準で推移しました。

アジア・オセアニア・中南米市場では、インフレの高進や経済の不確実性から個人消費が低迷し、完成車の店頭販売は低調となり、市場在庫は高い水準で推移しました。中国市場では、ロードバイク人気の継続により、完成車の店頭販売は好調に推移し、市場在庫は適正レベルを維持しました。

日本市場においては、円安による完成車価格の高騰から店頭販売は低調となり、市場在庫はやや高めに推移しました。

このような市況の下、「105」をはじめとするロードバイク向けコンポーネントに対する需要は堅調に推移しました。また、グラベル専用コンポーネント「SHIMANO GRX」などの製品にご好評をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は162,594百万円(前年同期比20.7%減)、営業利益は24,328百万円(前年同期比42.2%減)となりました。

② 釣具

世界的に加熱気味であった釣具の需要が落ち着くなか、販売は弱含みで推移した一方で、市場在庫の調整には進展の動きが見え始めました。

日本市場においては、市場在庫の調整が継続するなかで販売は力強さを欠きました。

海外市場においては、北米市場では、ソルトウォーター向けの製品の需要は底堅く、良好な天候にも支えられ、販売は好調に推移し、市場在庫は適正化に向かいました。

欧州市場では、市場在庫の調整が継続し、販売は弱含みとなりました。

アジア市場では、低迷する景気の影響を受け消費者マインドが冷え込み、市場在庫は高めに推移し、販売は軟調でした。

豪州市場では、安定した天候から釣行も活況となり、市場在庫は適正水準を維持し、販売は堅調に推移しました。

このような市況の下、新製品のペイトリール「METANIUM DC」、新製品のスピニングリール「TWIN POWER」、新製品のロッド「POISON ADRENA」などの製品に多くのご注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は54,069百万円(前年同期比6.8%減)、営業利益は6,651百万円(前年同期比43.8%減)となりました。

③ その他

当セグメントの売上高は222百万円(前年同期比5.6%減)、営業損失は24百万円(前年同期は営業損失28百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における資産合計は961,480百万円(前連結会計年度比89,749百万円の増加)となりました。これは、現金及び預金が55,048百万円、建設仮勘定が12,326百万円、受取手形及び売掛金が10,090百万円、投資有価証券が4,022百万円、建物及び構築物が4,011百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債合計は78,889百万円(前連結会計年度比9,555百万円の増加)となりました。これは、未払法人税等が4,822百万円、買掛金が4,715百万円それぞれ増加し、製品保証引当金が1,547百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は882,590百万円(前連結会計年度比80,193百万円の増加)となりました。これは、為替換算調整勘定が62,843百万円、利益剰余金が26,657百万円それぞれ増加し、自己株式の取得により11,733百万円減少したこと等によるものです。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、544,353百万円(前連結会計年度比62,371百万円の増加)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、52,458百万円の収入(前年同期は57,401百万円の収入)となりました。主な収入要因は税金等調整前中間純利益55,562百万円、利息及び配当金の受取額13,172百万円、減価償却費12,645百万円等によるものです。また主な支出要因は受取利息及び受取配当金12,373百万円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、15,845百万円の支出(前年同期は5,018百万円の支出)となりました。主な収入要因は定期預金の払戻による収入9,659百万円等によるものです。また主な支出要因は有形固定資産の取得による支出19,253百万円、無形固定資産の取得による支出4,738百万円、定期預金の預入による支出1,601百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、29,393百万円の支出(前年同期は19,361百万円の支出)となりました。主な支出要因は自己株式の取得による支出16,009百万円、配当金の支払額12,829百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、ロードバイクを中心とするスポーツバイク人気が続いた中国市場において、販売が好調に推移した結果、当第2四半期(中間期)連結会計期間の業績が前回発表予想を上回った一方で、依然として市場在庫が高い水準で推移していること、欧州市場の春商戦における天候不順もあり市場在庫滞留の解消に遅れが見込まれる等、先行き不透明な状況が今後も継続する見通しであります。以上を踏まえ、業績予想を修正いたします。

2024年12月期 通期連結業績予想数値の変更(2024年1月1日～2024年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	420,000	56,800	86,800	66,300	738.59
今回修正予想(B)	450,000	66,000	100,000	77,000	862.01
増減額(B-A)	30,000	9,200	13,200	10,700	
増減率(%)	7.1	16.2	15.2	16.1	
前期実績 (2023年12月期)	474,362	83,653	103,369	61,142	676.77

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。

2024年12月期の第2四半期末配当金は、株主還元の一層の強化を念頭に、当社の財務状況および通期の業績予想を踏まえ、前回予想から12円増配の1株当たり154円50銭にすることと決定いたしました。また、期末配当金も同じく1株当たり12円増配の154円50銭とし、これにより、当期の年間配当予想額を24円増配の1株当たり309円とする予定です。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	493,933	548,981
受取手形及び売掛金	31,602	41,692
商品及び製品	74,293	73,422
仕掛品	31,771	34,540
原材料及び貯蔵品	6,424	7,174
その他	15,071	14,168
貸倒引当金	△342	△456
流動資産合計	652,753	719,524
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	76,763	80,775
機械装置及び運搬具(純額)	33,005	33,906
土地	14,317	14,787
リース資産(純額)	5,433	5,868
建設仮勘定	22,994	35,321
その他(純額)	5,468	5,302
有形固定資産合計	157,982	175,961
無形固定資産		
のれん	1,898	1,808
ソフトウェア	13,225	14,409
その他	6,864	7,720
無形固定資産合計	21,989	23,938
投資その他の資産		
投資有価証券	23,781	27,803
繰延税金資産	9,693	8,891
退職給付に係る資産	2,804	2,599
その他	3,174	3,198
貸倒引当金	△447	△436
投資その他の資産合計	39,006	42,056
固定資産合計	218,977	241,956
資産合計	871,731	961,480

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,025	15,740
未払法人税等	5,737	10,559
賞与引当金	3,041	2,582
役員賞与引当金	141	75
製品保証引当金	16,017	14,470
その他	25,870	27,671
流動負債合計	61,834	71,100
固定負債		
繰延税金負債	3,179	3,178
退職給付に係る負債	1,253	1,366
その他	3,067	3,243
固定負債合計	7,500	7,789
負債合計	69,334	78,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	35,613	35,613
資本剰余金	5,640	5,647
利益剰余金	647,172	673,830
自己株式	△1,264	△12,997
株主資本合計	687,162	702,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,902	7,306
為替換算調整勘定	109,101	171,945
その他の包括利益累計額合計	114,003	179,251
非支配株主持分	1,230	1,246
純資産合計	802,396	882,590
負債純資産合計	871,731	961,480

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	263,250	216,887
売上原価	159,819	132,949
売上総利益	103,431	83,937
販売費及び一般管理費	49,523	52,981
営業利益	53,908	30,955
営業外収益		
受取利息	8,397	12,027
受取配当金	443	346
為替差益	6,618	13,096
その他	421	422
営業外収益合計	15,881	25,893
営業外費用		
支払利息	115	53
寄付金	616	525
自主回収費用	503	258
その他	144	385
営業外費用合計	1,379	1,222
経常利益	68,409	55,625
特別損失		
工場建替関連費用	323	63
特別損失合計	323	63
税金等調整前中間純利益	68,086	55,562
法人税、住民税及び事業税	17,159	12,173
法人税等調整額	444	△481
法人税等合計	17,604	11,691
中間純利益	50,482	43,870
非支配株主に帰属する中間純利益	103	166
親会社株主に帰属する中間純利益	50,378	43,704

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	50,482	43,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	933	2,404
為替換算調整勘定	43,233	62,920
その他の包括利益合計	44,166	65,324
中間包括利益	94,648	109,195
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	94,372	108,952
非支配株主に係る中間包括利益	276	242

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	68,086	55,562
減価償却費	11,526	12,645
無償点検関連費用	-	1,511
受取利息及び受取配当金	△8,840	△12,373
支払利息	115	53
為替差損益(△は益)	△4,947	△9,620
売上債権の増減額(△は増加)	9,179	△8,006
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,098	5,105
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,132	3,837
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	116	204
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	24	35
工場建替関連費用	323	63
製品保証引当金の増減額(△は減少)	-	△1,618
有形固定資産除売却損益(△は益)	2	22
未払賞与の増減額(△は減少)	1,898	2,325
その他	△1,190	△2,094
小計	75,259	47,653
利息及び配当金の受取額	8,291	13,172
無償点検関連費用の支払額	-	△1,418
利息の支払額	△128	2
法人税等の支払額	△26,021	△6,951
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,401	52,458
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,966	△1,601
定期預金の払戻による収入	9,624	9,659
有形固定資産の取得による支出	△8,473	△19,253
無形固定資産の取得による支出	△2,776	△4,738
工場建替関連費用の支払額	△389	△77
投資有価証券の取得による支出	△265	-
その他	228	164
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,018	△15,845
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△973	-
リース債務の返済による支出	△546	△600
自己株式の取得による支出	△4,897	△16,009
配当金の支払額	△12,926	△12,829
非支配株主への配当金の支払額	△74	△8
その他	55	55
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,361	△29,393
現金及び現金同等物に係る換算差額	34,349	55,150
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	67,371	62,371
現金及び現金同等物の期首残高	417,266	481,982
現金及び現金同等物の中間期末残高	484,638	544,353

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2023年4月25日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、2024年2月27日に普通株式200,000株を取得しました。また、2024年4月23日開催の取締役会決議に基づき、東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)により、2024年5月17日に普通株式442,000株を取得しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当中間連結会計期間において自己株式が16,009百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2024年3月19日開催の取締役会決議に基づき、2024年3月27日に自己株式200,000株の消却を行いました。この結果、当中間連結会計期間において利益剰余金が4,227百万円、自己株式が4,227百万円それぞれ減少しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
外部顧客への売上高	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	204,986	58,027	236	263,250	—	263,250
セグメント利益又は損失(△)	42,093	11,843	△28	53,908	—	53,908

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。

当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	自転車部品	釣具	その他	計		
売上高						
一時点で移転される財	162,594	54,069	222	216,887	—	216,887
一定の期間にわたり移転 される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	162,594	54,069	222	216,887	—	216,887
外部顧客への売上高	162,594	54,069	222	216,887	—	216,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	162,594	54,069	222	216,887	—	216,887
セグメント利益又は損失(△)	24,328	6,651	△24	30,955	—	30,955

(注) 1 セグメント利益又は損失の合計額は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 売上高には、顧客との契約から生じる収益とそれ以外の収益を含めておりますが、そのほとんどが顧客との契約から生じる収益であり、その他の収益に重要性はないため、区分表示しておりません。